交通バリアフリー教室 in水戸市立上中妻小学校

茨城運輸支局では、令和6年10月22日（火）に水戸市立上中妻小学校の4年生29名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年10月22日（火） 10:15 ～ 12:00
- 場 所：水戸市立上中妻小学校
- 参加者：4年生 29名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏 [講師]
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ

参加者の感想

- ・（自分が）バスに乗った時に車いすに乗っている人を1度見たことがあって大変そうだったのに助けられなかった。今度からは手伝いたい。
- ・（障がい者）本人の気持ちを考えるのは大変なんだと思った
- ・（高齢者疑似体験で）動くのがものすごく大変だった。身体が不自由な人は大変だなあと思った。
- ・障がいのある方を助けたい気持ちがたくさん心の中にあふれた
- ・これからも進んでお手伝いをしよう
- ・（高齢者疑似体験で）おばあちゃんがいつも膝が痛いと言っていたのはこういうことなんだと分かった
- ・障がい者の人を助けたいという気持ちが心に残った
- ・車いすを使っている人がいたら手伝おうと思った
- ・自分が乗っているバスに車いすの人が乗ってきたら席を譲ったり乗り降りを手伝ってあげたい